

AOMORI PIKACHI DATA



# ピカイチ データ

数字で読む青森県 2011



# 青森県統計データランド

- ◆青森県の各種統計情報を掲載しています。
- ◆統計表はダウンロードできます。
- ◆統計表がない場合でも情報のありかがわかります。
- ◆この冊子をPDFファイルでダウンロードできます。



楽しく分かり易い  
子供向けのコーナーです。

アドレスは

<http://www.pref.aomori.lg.jp/kensei/tokei/>です。

どんどんアクセスしよう！

## 青森県統計グラフコンクール

青森県と青森県統計協会では、統計に対する関心を深め統計の表現技術の向上を目的として、毎年「青森県統計グラフコンクール」を行っています。

- ◆統計グラフには、複雑な統計数字も簡単・明瞭に表現できる特性があります。
- ◆統計の内容に関係のある絵と組み合わせると、子供からお年寄りまで広く興味をもって見てくれます。
- ◆県内在住の小学生以上の方なら、どなたでも応募できます。
- ◆毎年7～8月に募集しています。[お問い合わせ先 電話017-734-9165]

あなたの作品を  
お待ちしております。  
どしどし  
ご応募ください。

# 目次

A O M O R I  
ピカイチデータ  
数字で読む青森県2011

ピカイチデータ100! <青森県の全国順位5位以内> .....2

イチニチデータ@青森県<青森県の1日あたりデータ> .....12

- 自然からの贈り物 再生可能エネルギー .....13
- 東北新幹線全線開業1周年!! .....14~15
- 世界遺産登録を目指して 一青森県の縄文一 .....16~17
- 世界一のブナ林・白神 .....18
- 温泉いっぱい ん～幸せ! .....19
- 日本最古のソメイヨシノ .....20
- 青森りんご「日本一!」って? .....21
- 決め手は、青森県産! .....22~23
- 伝統のピカイチ、新しいピカイチ .....24
- 青森の自然を楽しもう! .....25
- 青森のB級グルメ&ラーメン .....26
- 海を越えて来た!? 地域の祭りと文化 .....27
- オンリーワンで行こう! 元気な企業たち .....28~29



## ピカイチデータ番外編

- 〈青森県のピカピカ人財〉 .....30~35
- 〈来て!見て!青森のゆるキャラ〉 .....36~37

## ピカイチデータ☆市町村!

- 〈ふるさとのナンバーワン、オンリーワン〉 .....38~47

青森県の基本データ、近年の主な映画ロケ地、  
2011年のピカイチな記録、青森県の主な郷土料理・家庭料理  
.....48~49

# 青森県の全国順位5位以内

# ピカイチデータ 100!



## くらし・環境



項目	単位 年次	県値(順位)	全国値	
			(都道府県)	最高値/次順位値
1 年平均気温 (県庁所在地)	℃ <sup>[L]</sup> 20	10.7 (3)	-	(北海道) 9.5
2 最高気温 (日最高気温の月平均の最高値)	℃ <sup>[L]</sup> 20	25.8 (2)	-	(北海道) 25.7
3 最低気温 (日最低気温の月平均の最低値)	℃ 20	-3.9 (5)	-	(北海道) -7.5
4 雪日数 (年間)	日 20	106 (2)	-	(北海道) 108
5 人口密度 (可住地面積1km <sup>2</sup> 当たり)	人 <sup>[L]</sup> 21	430 (5)	1,050	(北海道) 251
6 住宅地の平均価格 (1㎡当たり)	円 <sup>[L]</sup> 22	21,600 (3)	-	(秋田県) 18,000
7 持ち家住宅の豊数 (1人当たり)	畳 20	16.5 (4)	14.3	(富山県) 17.6

[L] の項目は、順位の低い方を1位としている。

項目	単位 年次	県値(順位)	全国値	
			(都道府県)	最高値/次順位値
8 借家住宅の豊数 (1人当たり)	畳 20	10.1 (3)	9.3	(北海道) 11.2
9 理容・美容所数 (人口10万人当たり)	所 20	430.5 (3)	279.6	(秋田県) 537.8
10 公衆浴場数 (人口10万人当たり)	所 20	24.8 (1)	4.5	(鹿児島県)(2) 19.5
11 温泉地数	所 21	150 (4)	3,230	(北海道) 260



## 農産物

12 ながいもの収穫量	t 22	58,600 (2)	145,200	(北海道) 67,700
13 にんにくの収穫量	t 22	13,400 (1)	19,700	(香川県)(2) 728
14 ごぼうの収穫量	t 22	52,700 (1)	161,100	(茨城県)(2) 20,000
15 だいこんの収穫量	t 22	125,900 (3)	1,496,000	(千葉県) 163,500
16 かぶの収穫量	t 22	8,280 (3)	144,600	(千葉県) 41,800
17 にんじんの収穫量	t 22	33,500 (5)	593,200	(北海道) 163,800
18 りんごの収穫量	t 22	452,500 (1)	786,500	(長野県)(2) 144,900

項目	単位 年次	県値(順位)	全国値	
			(都道府県) 最高値/次順位値	
19 西洋なしの収穫量 (しゅうかくりょう)	t	1,560 (4)	26,200	
	22		(山形県) 17,100	
20 おとうの収穫量 (さくらんぼ)	t	807 (3)	19,700	
	22		(山形県) 14,300	
21 あんずの収穫量	t	561 (2)	1,619	
	20		(長野県) 1,023	
22 くるみの収穫量	t	38 (2)	200	
	20		(長野県) 158	
23 ネクタリンの収穫量	t	107 (3)	2,615	
	20		(長野県) 2,068	
24 フサスグリの収穫量 (カシスなど)	t	5.6 (1)	5.9	
	20		(北海道)(2) 0.3	
25 プルーンの収穫量	t	461 (3)	3,169	
	20		(長野県) 1,960	
26 マルメロの収穫量	t	33 (3)	359	
	20		(長野県) 258	
27 なたねの収穫量 (子実用)	t	268 (2)	1,570	
	22		(北海道) 600	



## 水産物

28 さけ・ます類の漁獲量 (海面漁業)	t	3,559 (4)	224,204	
	21		(北海道) 181,756	
29 さけ類の漁獲量 (海面漁業)	t	3,361 (4)	205,742	
	21		(北海道) 163,689	

項目	単位 年次	県値(順位)	全国値	
			(都道府県) 最高値/次順位値	
30 ひらめの漁獲量 (海面漁業)	t	983 (1)	7,218	
	21		(福島県)(2) 813	
31 たら類の漁獲量 (海面漁業)	t	8,088 (4)	274,919	
	21		(北海道) 237,360	
32 すけとうだらの漁獲量 (海面漁業)	t	3,863 (3)	227,261	
	21		(北海道) 215,135	
33 いか類の漁獲量 (海面漁業)	t	80,307 (1)	295,837	
	21		(北海道)(2) 59,011	
34 うに類の漁獲量 (海面漁業)	t	792 (3)	11,061	
	21		(北海道) 5,348	
35 こんぶ類の漁獲量 (海面漁業)	t	2,218 (2)	80,115	
	21		(北海道) 77,084	
36 ほたてがいの生産量 (海面養殖業)	t	106,130 (2)	256,695	
	21		(北海道) 128,968	
37 わかさぎの漁獲量 (内水面漁業)	t	476 (1)	2,009	
	21		(茨城県)(2) 458	
38 こいの漁獲量 (内水面漁業)	t	117 (1)	434	
	21		(茨城県)(2) 77	
39 しじみの漁獲量 (内水面漁業)	t	2,786 (2)	10,432	
	21		(島根県) 3,662	
40 しらうおの漁獲量 (内水面漁業)	t	510 (1)	745	
	21		(茨城県)(2) 180	



# 畜産業・林業

項目	単位 年次	県値(順位)	全国値	
			(都道府県) 最高値/次順位値	
41 豚の飼養頭数 (飼養者1戸当たり)	頭 23	2,954 (2)	1,625 (岩手県)	3,330
42 採卵鶏(成鶏めす)の飼養羽数 (飼養者1戸当たり)	千羽 23	155 (1)	47 (岩手県)(2)	116
43 肉用若鶏の出荷量	千羽 22	38,700 (4)	633,799 (宮崎県)	119,862
44 ヒバ蓄積量	千m <sup>3</sup> 22	12,667 (1)	15,472 (北海道)(2)	756
45 ブナ蓄積量	千m <sup>3</sup> 22	14,939 (1)	100,324 (秋田県)(2)	13,498
46 スギ人工林面積	ha 19	199,850 (4)	4,504,945 (秋田県)	366,494

# 工業

47 部分肉・冷凍肉出荷金額 (ブロイラーを除く)	億円 21	499 (4)	11,794 (鹿児島県)	1,735
48 ブロイラー加工品出荷金額 (解体品を含む)	億円 21	371 (4)	5,149 (鹿児島県)	908
49 その他の水産缶詰・瓶詰出荷金額	億円 21	94 (3)	726 (北海道)	142
50 塩干品・塩蔵品出荷金額	億円 21	79 (5)	2,402 (北海道)	1,150

項目	単位 年次	県値(順位)	全国値	
			(都道府県) 最高値/次順位値	
51 味そ出荷金額 (粉末味そを含む)	億円 21	44 (4)	1,323 (長野県)	573
52 配合飼料出荷金額	億円 21	696 (5)	9,836 (鹿児島県)	1,900

# 産業基盤

53 農家1戸当たり耕地面積	m <sup>2</sup> 21	25,525 (2)	16,182 (北海道)	195,913
54 耕地面積(田畑計)	ha 22	156,800 (4)	4,593,000 (北海道)	1,156,000
55 耕地面積(樹園地)	ha 22	23,500 (2)	310,600 (静岡県)	30,100
56 耕地面積(牧草地)	ha 22	15,400 (3)	616,700 (北海道)	514,300
57 工業地の平均価格 (1㎡当たり)	円 <sup>[L]</sup> 22	10,600 (3)	- (秋田県)	8,600
58 工業専用地域面積比率 (対用途地域面積)	% 20	14.8 (2)	7.9 (茨城県)	17.1
59 第3次産業事業所数構成比 (対事業所数)	% 18	84.9 (3)	81.0 (沖縄県)	88.8
60 第1次産業就業者比率 (対就業者)	% 17	14.0 (1)	4.8 (岩手県)(2)	13.7

[L] の項目は、順位の低い方を1位としている。



## 健康・医療・安全

項目	単位 年次	県値(順位)	全国値	
			(都道府県) 最高値/次順位値	
61 早寝	時:分 18	22:32 (1)	23:16 (岩手県)(2)	22:37
62 早起き	時:分 18	6:22 (1)	6:39 (岩手県)(1)	6:22
63 胃がん検診受診率	% 21	21.9 (3)	10.1 (山形県)	27.1
64 大腸がん検診受診率	% 21	26.3 (4)	16.5 (山形県)	33.4
65 年間救急出動件数 (人口1万人当たり)	件 <sup>[L]</sup> 21	290 (2)	401 (福井県)	287
66 消防吏員数 (人口10万人当たり)	人 21	183.6 (1)	122.9 (秋田県)(2)	181.4

[L] の項目は、順位の低い方を1位としている。



## こども・文化・スポーツ

67 平均身長 (小学1年・男子)	cm 22	117.3 (2)	116.7 (秋田県)	117.8
68 平均体重 (小学1年・男子)	kg 22	22.2 (2)	21.4 (秋田県)	22.5
69 平均身長 (小学1年・女子)	cm 22	117.3 (1)	115.8 (秋田県・宮城県)(2)	116.8
70 平均体重 (小学1年・女子)	kg 22	22.5 (1)	21.0 (秋田県)(2)	21.9

項目	単位 年次	県値(順位)	全国値	
			(都道府県) 最高値/次順位値	
71 保育所数 (0~5歳人口10万人当たり)	所 20	745.6 (3)	351.2 (高知県)	782.9
72 少年少女発明クラブ数	クラブ 22	13 (2)	204 (愛知県)	19
73 陸上競技場数	クラブ 20	102 (3)	2,143 (北海道)	240
74 すもう場数	所 20	98 (4)	1,862 (山形県)	121

## 家計

75 中華めん購入数量 (1世帯当たり 県庁所在市)	g 22	13,474 (2)	9,725 (岩手県)	15,208
76 カップめん購入数量 (1世帯当たり 県庁所在市)	g 22	5,877 (1)	3,141 (新潟県)(2)	5,164
77 即席めん購入数量 (1世帯当たり 県庁所在市)	g 22	3,304 (4)	2,548 (鳥取県)	4,932
78 魚介類購入金額 (1世帯当たり 県庁所在市)	円 22	96,805 (3)	82,278 (石川県)	98,972
79 かれい購入数量 (1世帯当たり 県庁所在市)	g 22	3,874 (2)	1,280 (鳥取県)	4,541
80 さけ購入数量 (1世帯当たり 県庁所在市)	g 22	5,404 (1)	2,931 (北海道)(2)	4,740
81 さんま購入数量 (1世帯当たり 県庁所在市)	g 22	2,748 (2)	1,690 (宮城県)	4,187

項目	単位 年次	県値(順位)	全国値	
			(都道府県)	最高値/次順位値
82 <b>いか購入数量</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	g	5,653 (1)		2,583
	22		(鳥取県)(2)	4,735
83 <b>ほたて貝購入数量</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	g	4,814 (1)		906
	22		(北海道)(2)	1,997
84 <b>塩干魚介購入金額</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	円	23,926 (1)		15,210
	22		(北海道)(2)	21,286
85 <b>たらこ購入金額</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	円	4,335 (3)		2,849
	22		(福岡県)	7,962
86 <b>魚介の漬物購入金額</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	円	6,437 (2)		3,016
	22		(富山県)	7,896
87 <b>豚肉購入数量</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	g	23,671 (2)		18,498
	22		(新潟県)	24,298
88 <b>ソーセージ購入数量</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	g	7,022 (1)		5,430
	22		(山口県)(2)	6,361
89 <b>卵購入数量</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	g	39,281 (1)		31,185
	22		(鳥取県)(2)	37,937
90 <b>もやし購入数量</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	g	10,518 (1)		7,334
	22		(新潟県)(2)	10,383
91 <b>ごぼう購入数量</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	g	3,107 (1)		2,022
	22		(広島県)(2)	2,874
92 <b>なす購入数量</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	g	6,369 (3)		4,504
	22		(京都府)	6,500
93 <b>こんにゃく購入金額</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	円	2,738 (3)		2,118
	22		(山形県)	3,879
94 <b>はくさい漬購入金額</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	円	1,270 (3)		588
	22		(高知県)	1,863

項目	単位 年次	県値(順位)	全国値	
			(都道府県)	最高値/次順位値
95 <b>りんご購入数量</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	g	31,998 (3)		12,371
	22		(福島県)	37,887
96 <b>キウイフルーツ購入数量</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	g	2,220 (3)		1,510
	22		(奈良県)	2,539
97 <b>マヨネーズ・マヨネーズ風味調味料購入数量</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	g	3,283 (2)		2,714
	22		(鳥取県)	3,391
98 <b>やきとり購入金額</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	円	3,114 (3)		1,864
	22		(福井県)	4,005
99 <b>ハンバーグ購入金額</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	円	1,366 (3)		963
	22		(福井県)	1,422
100 <b>コーヒー・ココア購入金額</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	円	11,522 (2)		9,115
	22		(石川県)	12,131
101 <b>コーヒー飲料購入金額</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	円	5,979 (1)		3,835
	22		(富山県)(2)	5,351
102 <b>果実・野菜ジュース購入金額</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	円	14,564 (1)		8,548
	22		(徳島県)(2)	10,815
103 <b>炭酸飲料購入金額</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	円	6,966 (1)		3,666
	22		(北海道)(2)	5,272
104 <b>乳飲料購入金額</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	円	1,786 (4)		1,229
	22		(鳥取県)	2,562
105 <b>温泉・銭湯入浴料購入金額</b> (1世帯当たり 県庁所在市)	円	4,927 (3)		2,241
	22		(石川県)	5,421

(注1) 年次は平成をさす。(注2) 全国値の(2)は、次順位の都道府県及びその数値。

(注3) 全国値の(1)は、本県と同じく第1位の都道府県及びその数値。

「ピカイチデータ100！」資料名

1~5・7~10・53・58~60・66・71 統計でみる都道府県のすがた2011(総務省)、6・57 平成22年都道府県地価調査(国土交通省)  
 11 平成23年版環境統計集(環境省)、12~17 野菜生産出荷統計(農林水産省)、18~20 果樹生産出荷統計(農林水産省)、  
 21~26 特産果樹生産動態等調査(農林水産省)、27 作物統計(農林水産省)、28~40 漁業・養殖業生産統計年報(農林水産省)、  
 41~42 畜産統計(農林水産省)、43 食鳥流通統計(農林水産省)、44~45 国有林野事業統計書(林野庁)、46 森林資源の現況(農林水産省)、  
 47~52 工業統計表(経済産業省)、54~56 耕地及び作付面積統計(農林水産省)、61~62 平成18年社会生活基本調査(総務省)、  
 63~64 地域保健・健康増進事業報告(厚生労働省)、65 消防白書(消防庁)、67~70 学校保健統計調査(文部科学省)、  
 72 少年少女発明クラブHP(社団法人発明協会)、73~74 平成20年度体育・スポーツ施設現況調査(文部科学省)、75~105 家計調査(総務省)

# イチニチデータ@青森県

青森県の1日あたりデータ



おく さいせい か のう

## 自然からの贈り物 再生可能エネルギー



<b>出生</b> 27人 (H22年)	<b>死亡</b> 44人 (H22年)	<b>結婚</b> 16組 (H22年)	<b>離婚</b> 7組 (H22年)
----------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------

<b>転入(県外から)</b> 60人 (H22年)	<b>転出(県外へ)</b> 74人 (H22年)	<b>青森空港乗降客</b> 2,809人 (H22年)	<b>出国者</b> 115人 (H22年)
----------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	------------------------------

<b>乗用車新車登録台数</b> 66.5台 (H22年度)	<b>新設住宅着工</b> 12.9戸 (H22年)	<b>パスポート発行件数</b> 52件 (H22年)	<b>ガソリン販売量</b> 1,688kl (ドラム缶8,441本分) (H22年)
--------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	--

<b>輸出額</b> 4億4千万円 (H21年)	<b>110番通報</b> 153件 (H22年)	<b>水道給水量</b> 398千m <sup>3</sup> (一人298リットル) (H21年度)	<b>ごみ総排出量</b> 1,483t (H21年度)
--------------------------------	---------------------------------	--	------------------------------------

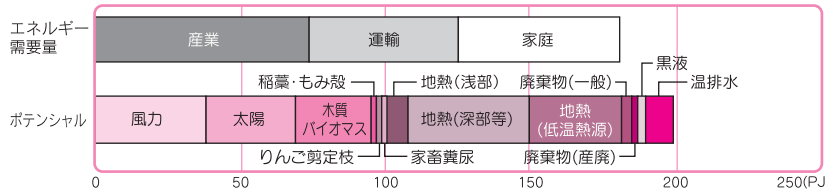
<b>交通事故</b> 15.0件 (H23年)	<b>犯罪発生</b> 27件 (H22年)	<b>スーパーの食料品販売額</b> 2億5,847万円 (H22年)	<b>ビール消費量</b> 84,003ℓ (大瓶約132,706本分) (H21年度)
--------------------------------	------------------------------	---	---

<b>火災発生</b> 1.4件 (H22年)	<b>救急出動</b> 121件 (H22年)	<b>献血者</b> 160人 (H22年度)	<b>病院外来者延べ数</b> 15,082人 (H21年)
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------------

\*数値は、年中の発生件数を1日あたりに単純平均したものの。

再生可能エネルギーとは、主に自然現象から取り出すことができ、くり返すことができるエネルギー。青森県では、豊かな自然環境を活かし、風力発電、太陽光発電などの導入が進められています。これらの青森県の再生可能エネルギーのポテンシャルは、県内のエネルギー消費量の111%を賄うことが可能と試算されています。

青森県のエネルギー賦存量



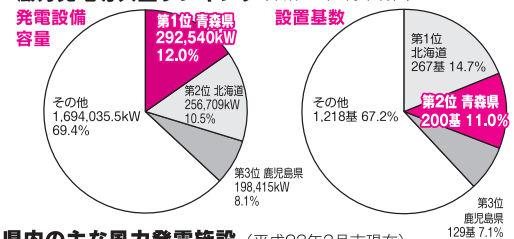
資料：県エネルギー総合対策局

中でも風力発電は県内各地で進められており、風車数は**200基で全国第2位**、発電設備容量は**292,540kWで全国第1位**！さらには、豊富な森林バイオマス資源を活用した木質ペレットなどの利用、住宅での地中熱利用暖冷房の実証導入などなど……。

平成21年12月には、全国初の取り組みとして青森県と東京都等が協定を結んで再生可能エネルギーの地域間連携を開始し、他の地域にも拡大しています。

豊富な自然から生まれるエネルギーを活かしてCO<sub>2</sub>排出を減らし、地球温暖化問題に取り組む。青森県の先進的な取組に、今、強い風が吹いています。

風力発電導入量ランキング(平成23年3月末現在)



県内の主な風力発電施設(平成23年3月末現在)

設置場所	発電設備容量
東通村 (岩屋ウィンドファーム)	1,300kW×25基
(岩屋ウィンドパーク)	1,500kW×18基
(尻笥ウィンドファーム)	1,750kW×11基
(小田野沢ウィンドファーム)	1,300kW×10基
(ユラスヒッツ北野沢クリフ風力発電所)	2,000kW×6基
六ヶ所村 (むつ小川原ウィンドファーム)	1,500kW×22基
(六ヶ所村風力発電所)	1,500kW×20基
(二又風力発電)	1,500kW×34基
野辺地町 (野辺地ウィンドファーム)	2,000kW×25基
横浜町 (大豆田風力発電所)	1,750kW×6基
鯉ヶ沢町 (市民風車わんず)	1,500kW×1基
大間町 (市民風車「まぐるん」ちゃん)	1,000kW×1基
五所川原市 (市浦村風力発電所)	1,930kW×8基

\*平成23年12月末現在では、設置基数202基、発電設備容量306,890kw

資料：NEDO技術開発機構HP、県エネルギー総合対策局



# 東北新幹線全線開業1周年!!



2011年12月4日の東北新幹線全線開業から1年。  
実は、東北新幹線にもいろいろな「ピカイチ！」があるんです。

## 日本一速い！新型高速新幹線車両(E5系)「はやぶさ」

東北新幹線全線開業時には、現行の「はやて」で営業運転され、東京～新青森間の最速達列車は3時間20分！2011年3月からは新型高速新幹線車両(E5系)「はやぶさ」が導入されました。その後、段階的に高速化が図られ、2012年3月には、最高速度時速320km、東京～新青森間を最速達列車で3時間5分程度で結ぶ予定となっています!!

なんと東海道・山陽新幹線「のぞみ」の時速300kmを追い抜き、フランスのTGVと並び世界一速い新幹線になります。車体の揺れを瞬時に感知し電気力で振動を抑制する「フルアクティブサスペンション」を日本で初めて全車両に取り付け、さらに世界で初めてカーブでの乗り心地を改善する「車体傾斜制御」を一緒に搭載。

また、国内新幹線初となるファーストクラス「グリーンクラス」が導入され、世界最高レベルのスピードと「癒し・やすらぎ」を感じられる最高級の客室設備・空間が実現!



## 路線が日本一長い！新青森～東京間

東北新幹線全線開業後は、東京～新青森間の営業キロが713.7kmとなり、在来線も含めた中で、日本最長の路線！これまでの山陰本線(営業キロ673.8km)に代わり、日本一となりました。

## 世界一長い陸上トンネル「八甲田トンネル」

「八甲田トンネル」は全長26.455km、複線断面では世界一長い陸上トンネルです。青森県の中央部にある八甲田山系の北端に位置し、八戸駅から新青森駅までの距離(81.8km)の約3分の1を占めるこのトンネルは、約3年半にわたる掘削工事のすえ平成17年2月に貫通しました。



## 新幹線の鉄道橋で橋脚間隔が日本一長い！

三内丸山遺跡に近い国道7号青森環状道路をまたぐ「三内丸山架道橋」は、橋長450m。橋を支える橋脚と橋脚の間隔は最長150m。新幹線の鉄道橋で日本一長い間隔です。太い柱の両側から数本のケーブルが斜めに張られたエクストラードスト橋で、柱の高さと桁の厚さを可能な限り抑えているので、青森ベイブリッジなどの斜張橋に比べて柱が低くケーブル角度も水平に近いのが特徴。



## 第3セクター鉄道として「日本一の長さ」に「青い森鉄道」

東北新幹線全線開業と同時に、並行在来線である東北本線八戸～青森間がJR東日本から経営分離され、第3セクター鉄道「青い森鉄道」が青森まで全線開業。青い森鉄道は平成14年12月に県境の目時・八戸間の7駅、25.9kmで開業しましたが、全線開業により目時～青森間121.9kmと日本一長い第3セクター鉄道となりました。

また、青い森鉄道は、第3セクター鉄道として日本で初めて上下分離方式を採用した鉄道です。上下分離方式とは、鉄道のレール、駅舎、ホーム等の施設(「下」にあたる部分)を県が保有し、鉄道の車両(「上」にあたる部分)を第3セクター鉄道会社が保有して旅客の輸送を行う方式。

新幹線と一緒に、青い森鉄道も、人と地域の元気をつないで走ります。

## もうひとつの「長大海底トンネル」「青函トンネル」

津軽海峡の海面下240mの海底で北海道と結ばれる「青函トンネル」は、全長53.85kmで海底トンネルとしては世界一長いトンネルです。日本の最新技術を駆使し、昭和63年(1988年)3月に開通！その技術が、英仏海峡トンネルでも活用されました。

### 「青函トンネル」のピカイチデータ

トンネル全長	53.85km(うち海底部23.30km)
スーパーロングレール	延長52.57km
使用したセメントの量	約85万t(セメント袋を積み上げると富士山の850倍)
掘った土砂の量	約630万m <sup>3</sup> (東京ドームの約5杯分)
水平ボーリング	2,150m(世界最長！)
火薬の量	約2,900t
作業員の延べ人員	約1,400万人

資料：県交通政策課、県青い森鉄道対策室、青函トンネル記念館HP、JR北海道函館支社HP

# 世界遺産登録を目指して

# —青森県の縄文—



縄文時代は今から約1万2～3千年前に始まり、日本で本格的な稲作が始まる弥生時代の開始まで、約1万年もの間つづきました。

青森県は、県内各地に**3千を超える**縄文時代の遺跡が存在し、そのうち**7遺跡が国指定史跡**となっているなど、極めて文化価値の高い地域なのです。

中でも青森市の「三内丸山遺跡」は、大型掘立柱建物跡や数多くの栽培植物の種子、装飾品が出土し、発掘が進むにつれ、全国に衝撃を与えて一躍有名になり、平成12年に**国の特別史跡に指定**されました。

また、八戸市の「風張1遺跡」から出土した「合掌土偶」は、座って正面で手を合わせ指を組んだ姿勢で他に例がないこと、他の土偶より精巧に作られ、住居の片隅に置かれた状態で出土した例は非常に少ないことなどから、平成21年に**国宝に指定**され、平成23年7月にオープンした「是川縄文館」に展示されています。

こうした縄文人の驚くほど豊かな暮らしぶりや精神性は、従来の縄文時代のイメージをことごとく覆しました。

北海道から北東北は、全国に約5万か所ある縄文遺跡のうち約6割が分布する、まさに「**縄文遺跡の宝庫**」です。この貴重な宝を未来に残すため、青森県は、北海道、岩手県、秋田県と協力し、青森県の8遺跡を含む15遺跡で構成する「**北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群**」の世界遺産登録を目指しており、平成21年1月にはユネスコの「**世界遺産暫定一覧表**」に記載されました。

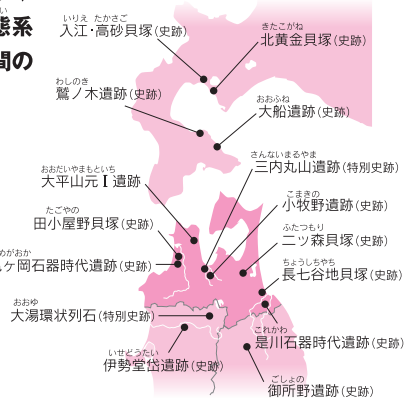
世界遺産白神山地のブナ原生林は、縄文時代に形成されたといわれています。縄文文化は、母なるブナの森の恵みを受けながら、クリや植物の栽培、狩り、漁をバランスよく行い、**生態系を守る**ことによって、**豊かな生活を送り、長期間の繁栄を維持**することができたのです。

自然に感謝し、自然と共生するという縄文の暮らしには、現代に生きる私たちが学ぶべきことがたくさんあります。日本の基礎をつくった**縄文文化を、私たちの手で守り、未来へ繋いでいきましょう！**

## 「北海道・北東北の縄文遺跡群」(15遺跡)



青森の縄文を世界遺産に



**三内丸山遺跡のピカイチ!**

- 大きい!** ◆面積35ha、日本最大級の縄文集落跡!
- ◆直径1mのクリ巨木6本の巨大な柱穴!
- ◆高さ32cmの板状土偶は国内最大級!
- ◆長さ32mの大型竪穴住居跡!

---

- ハテク!** ◆竪穴住居跡や大人・子どもの墓、道路跡など、**施設配置に計画性があり、1,500年間にも及ぶ長期間の定住生活を送った!**
- ◆大型掘立柱建物の柱穴は直径・深さとも**2メートル**、間隔は**全て4.2m**。測量技術が備わっていた?
- ◆ヒョウタンやゴボウなどの**栽培植物の種子**が出土し、DNA分析により**クリの栽培**も明らかに!
- ◆**赤漆塗りの木製皿**や**赤色顔料**が発見、高い技術を持っていた!

---

- 遠くから!** ◆**新潟県糸魚川市**周辺のヒスイや**長野県産の黒曜石**、岩手産のコハクなどを数多く出土。数百キロも離れた地域の人々と交流していた!



青森県の縄文遺跡は、縄文時代の各時期の文化を今に伝えるものとして学術的に重要なだけでなく、日本という枠を超え、世界の宝として残すべき貴重な文化遺産なのです。

時代	青森県	北海道	岩手県	秋田県	世界の出来事
今から約13,000年前	旧石器時代				北京原人の活躍 ラスコー洞窟壁画(フランス)
約9,000年前	草創期	大平山元1遺跡(外ヶ浜町)			
	早期	長七谷地貝塚(八戸市)			長江下流域で稲作の始まり(中国)
約6,000年前	縄文時代	前期	三内丸山遺跡(青森市)	北黄金貝塚	
		田小屋野貝塚(つがる市)	入江・高砂貝塚		中国文明の始まり メソポタミア文明の始まり ストーンヘンジ(イギリス)
約5,000年前	中期	二ツ森貝塚(七戸町)	大船遺跡	御所野遺跡	クフ王のピラミッド(エジプト) インダス文明の始まり モヘンジョダロ(パキスタン)
	後期	小牧野遺跡(青森市)	鷺ノ木遺跡		ハンムラビ法典 殷王朝の成立(中国) ツタンカーメン王即位(エジプト)
約4,000年前					
約3,000年前	晩期	是川石器時代遺跡(八戸市)			春秋時代(中国) バルテノン神殿(ギリシャ) 万里の長城(中国)
約2,300年前		亀ヶ岡石器時代遺跡(つがる市)			

資料：県教育庁文化財保護課

# 世界一のブナ林・白神

しら かみ



白神山地は、青森県南西部から秋田県北西部にまたがる約13万haに及ぶ広大な山地帯の総称です。太古の昔から変わらぬ自然が残っている白神山地は、**1993年(平成5年)12月に日本初の世界遺産(自然遺産)**として登録されました。2011年(平成23年)11月現在、世界遺産リスト登録件数は936件、うち

日本では白神山地を含め**16件(自然遺産は白神、屋久島、知床、小笠原の4件だけ!!)**です。

この地球上に残された世界最大級の原始的なブナ林には、**500種を超える植物が自生し、非常に多くの動物たちが生息する貴重な生態系**が保たれているのです。

ブナ林は、動物たちのエサになる果実や木の葉が多くあるほか、水を蓄える力がとても大きいこと、大地に張りめぐらされた根が豪雨による地表浸食を防ぐ機能があることも高く

評価されています。現在確認されているブナのうち最古のものは、**推定樹齢400年、幹周り465cm、胸高直径148cm、樹高30m**の巨木で、「マザーツリー」と呼ばれています。

青森県には、守り伝えていきたい豊かな自然がいっぱいです!

	世界遺産登録面積	比率	東京ドームに換算すると
全体	16,971ha	100.0%	3629.8個分
青森県側(約4分の3を占める)	<b>12,627ha</b>	<b>74.4%</b>	<b>2700.7個分</b>
鱒ヶ沢町	4,649ha	27.4%	994.3個分
深浦町	4,120ha	24.3%	881.2個分
西目屋村	3,858ha	22.7%	825.2個分
秋田県側(藤里町)	4,344ha	25.6%	929.1個分

主な植物	◆アオモリマンテマ(青森県で初めて見つけた。県レッドデータブック重要希少野生生物) ◆ツガルミセバヤ(青森県で初めて見つけた。県レッドデータブック重要希少野生生物) ◆シラガミクワガタ(県レッドデータブック重要希少野生生物)
主な動物	◆ニホンカモシカ(国の特別天然記念物) ◆ツキノワグマ ◆ヤマネ(国の天然記念物、県レッドデータブック希少野生生物) ◆ニホンザル(県レッドデータブック地域限定希少野生生物)
主な鳥	◆クマガラ(国の天然記念物、県レッドデータブック最重要希少野生生物) ◆イヌワシ(国の天然記念物、国内希少野生動物種、県レッドデータブック最重要希少野生生物) ◆シノリガモ(県レッドデータブック重要希少野生生物)



※写真:クマガラ(東北森林管理局 青森分局提供)

資料:県自然保護課、ユネスコ世界遺産センターHP(H23.11)、文化庁HP(H23.6)、林野庁HP、全国巨樹・巨木会の会HP

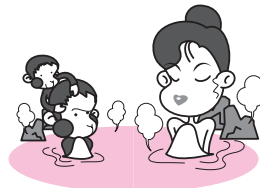
# 温泉いっぱい ん~幸せ!



環境省の温泉利用状況報告(平成22年3月末日現在)によると、青森県は**温泉地数が全国第4位、湧出量は全国第4位の温泉の宝庫!** さらに、**源泉総数のうち42度以上源泉数の割合**でみると**全国第2位!**

温泉地数 (か所)	順位	地数
1位 北海道	260	
2位 長野県	229	
3位 新潟県	154	
<b>4位 青森県</b>	<b>150</b>	
5位 熊本県	142	

湧出量 (ℓ/分)	順位	湧出量
1位 大分県	298,227	
2位 北海道	267,440	
3位 鹿児島県	199,104	
<b>4位 青森県</b>	<b>155,801</b>	
5位 熊本県	132,753	



## 源泉総数のうち42度以上源泉数の割合(%)

1位 大分県	77.0
<b>2位 青森県</b>	<b>70.6</b>
3位 鹿児島県	65.2
4位 岩手県	58.1
5位 長崎県	55.4

市街地でも温泉が湧き出すので、近所の銭湯にも温泉銭湯が多くあります。

青森県は人口10万人当たりの**公衆浴場数が24.8ヶ所**(平成20年度)でダントツの**全国第1位!**なんと**全国平均の5.5倍**です。(※ピカイチデータ100!もご覧ください。)いつでも温泉や銭湯に入れるよう車に入浴セットを常備している人も珍しくありません。大町桂月

が愛した**蔦温泉**(十和田市)や、日本海が見える**黄金崎不老不死温泉**(深浦町)、日本一黒いモール温泉と言われる**東北温泉**(東北町)など、バラエティ豊か。青森県民はラーメン好きが多いように(※26ページもご覧ください)、温泉好きも多いんですね!

## ◆国民保養温泉地指定第1号 酸ヶ湯温泉(青森市)

300年ほど前、江戸時代から開かれていた山の温泉宿。湯治客も多い。名物は80坪の総ヒバ造り大浴場「千人風呂」。**昭和29年には国民保養温泉地第1号**に指定!これは、数ある温泉地のうち、温泉利用の効果が十分期待され、かつ健全な温泉地として優れた条件を備えている地域を環境省が指定しているもので、全国に91ヶ所だけ(H23.1.1 現在)。そして青森県には**国民保養温泉地がもうひとつ!**「**薬研温泉**」(むつ市)が昭和46年に指定されています。

湯治の伝統を昔から伝える「温泉王国」青森県。美容とリフレッシュは青森県の温泉で!

資料:温泉利用状況報告(環境省)、環境省自然保護局HP、統計で見える都道府県のすがた2011(総務省)、「青森県の温泉」HP(県自然保護課)、アプティネット「いで湯めぐり」HP(県観光企画課)



# 日本最古のソメイヨシノ



藩政時代、津軽氏の居城であった弘前城は、現在、**弘前公園**として多くの市民や観光客に親しまれています。明治末期頃から市民による桜の寄贈が盛んになり、**広さ約49.2ha**の園内には、ソメイヨシノを中心に**約50種2,600本の桜**が、ちょうどゴールデンウィークあたりに、**艶を競って咲き誇ります**。**日本最古のソメイヨシノは明治15年(1882年)植栽で樹齢129年!**二の丸・東内門の近くで見事な花を咲かせます。寿命60年といわれるソメイヨシノ、昭和30年頃一度枯れそうになりましたが、関係者が懸命の手当てで蘇らせたのです。桜の枝は剪定しないのが常識だった当時、**りんごの剪定技術を取り入れてみよう**と試み、未来を切り拓いたのです。**樹齢100年以上のソメイヨシノは他にも約20本!**その1本、**日本一太いソメイヨシノ(幹周り5m35cm!)**も「緑の相談所」裏で咲き誇ります。**弘前公園の桜の美しさは、手間と時間を惜しまず剪定と肥料やりを熱心に続けている賜物**。日本一のりんごに欠かせない**剪定技術**とこれに合わせ独特な形の剪定鋏を造り出してきた藩政時代の刀鍛冶から続く「**津軽打刃物**」の技術が下地なのです。

また、同じ弘前市内の百沢～常盤野県道沿い、岩木山の南側**総延長20kmの桜並木(オオヤマザクラ6,500本)**は**世界一の長さ!**岩木山神社近くの桜林公園にも約1,000本の桜があります。

## 桜の本数が多い県内の公園

弘前市弘前公園	2,600本
五所川原市芦野公園	2,200本
六戸町鎗野公園	2,000本
八戸市八戸公園こどもの国・植物園	2,000本
三戸町城山公園	1,600本
南部町名川チェリリン村	1,000本
弘前市桜林公園	1,000本
おいらせ町下田公園	800本

写真：弘前城 下乗橋

資料：弘前市公園緑地課、市町村照会、他

# 青森りんご「日本一!」って?



全国収穫量の半分以上を占める**日本一の青森りんごは、明治8年(1875年)春**、当時の内務省勸業寮から**3本の苗木**が配布され、県庁構内に植えられたのが**始まり**。現在、**県庁前庭**では昭和38年以降に植えられた**12種類のりんごの木**が実をつけます。

**日本最古のりんごの樹(つがる市柏)**は、明治11年(1878年)植栽で**樹齢132年!**今も約40箱もの実をつけます。

**日本一長いりんごの並木道は、五所川原市**が全国で唯一生産する**果肉まで「赤〜いりんご」**が約1kmにわたり**約380本**植えられた並木道。「赤〜いりんご」を使ったジュースやスイーツが作られています。

黒石市にある地方独立行政法人青森県産業技術センター**りんご研究所**は、**日本唯一のりんごの専門試験研究機関**で、**昭和6年(1931年)設立**。果樹研究で有名な英国イースト・モーリング研究所を模した旧本館は、現在「**りんご史料館**」となっています。

青森りんごの人気は、日本国内にとどまりません。色がきれいで甘〜い青森りんごは、海外でも高く評価されています。**日本のりんご輸出量のうち約9割が青森りんご**と言われており、**台湾への輸出が大半**を占めています。このほか、香港、中国、タイなどへも輸出されています。

平成21年には、なんと、**青森りんごが宇宙にも進出!**!!日本人宇宙飛行士の若

## 青森りんご「日本一!」データ



**田光一さんとともに、青森りんご10個が国際宇宙ステーションへと旅立ち、宇宙でりんごをかじる姿が世界中に紹介されました**。生鮮食品を宇宙食にできるかを研究するために計画されたものですが、りんごもびっくり!?

**海外輸出量(平成22年産)**  
**全国の輸出量 17,940tの約9割**  
**うち、台湾へ15,912tの約9割**  
※財務貿易統計。このうち6割が青森県産と推計。

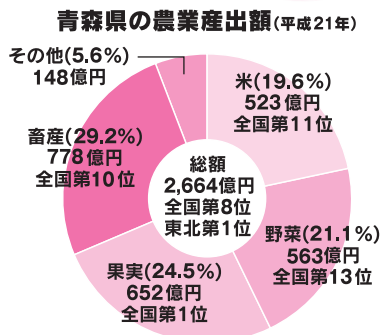
資料：県りんご果樹課HP、青森県HP中「私たちの青森県」、東京都中央卸売市場HP、県総合販売戦略課



# 決め手は、青森県産!



日本の食料自給率が40%と低下する中、青森県は121%(H21年度概算値、カロリーベース)で**全国第4位!**胸を張って自慢できる「安全・安心」で「おいしい」農林水産物がいっぱいです。りんごだけでなく、米、野菜、果実、畜産、漁業のバランスが良く、収穫量・生産量の多さはもちろん、農業産出額・漁業生産額や東京中央卸売市場年間取扱金額もすごい! やっぱ「決め手は、青森県産!」ですね。



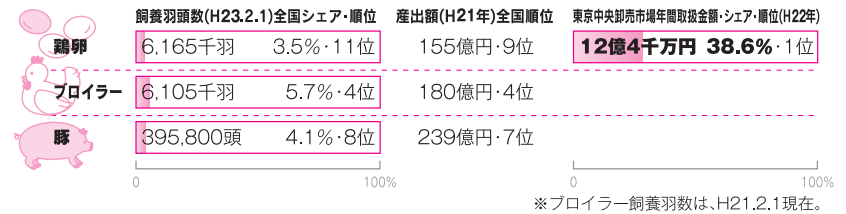
## ◆野菜・果実

ながいもや、収穫量日本一のにんにく、ごぼうは金額でもすごいのはもちろん、だいこんは産出額でごぼうを上回り、かぶ、にんじん、特にねぎとトマトは東京中央卸売市場年間取扱金額がすごい! 果実はりんごだけでなく、さくらんぼ、ぶどうも健闘! (「りんご」は前ページをご覧ください。)

品目	収穫量(H22年)全国シェア・順位	産出額(H21年)全国順位	東京中央卸売市場年間取扱金額・シェア・順位(H22年)
やまのいも	58,900t 40.0%・2位	111億円・2位	25億8千万円 77.9%・1位(ながいも)
にんにく	13,400t 68.0%・1位	96億円・1位	21億8千万円 72.3%・1位
ごぼう	52,700t 32.7%・1位	55億円・1位	13億2千万円 46.9%・1位
だいこん	125,900t 8.4%・3位	77億円・3位	17億4千万円 14.2%・4位
かぶ	8,280t 5.7%・3位	6億円・4位	3億9千万円 16.5%・2位
にんじん	33,500t 5.6%・5位	32億円・4位	7億6千万円 6.3%・4位
ねぎ	14,200t 3.0%・7位	22億円・19位	20億4千万円 11.4%・4位
トマト	16,200t 2.3%・13位	42億円・14位	20億8千万円 7.3%・6位
りんご	452,500t 57.5%・1位	617億円・1位	135億5千万円 76.2%・1位
おうとう(さくらんぼ)	807t 4.1%・3位	11億円・4位	600万円 0.2%・8位
ぶどう	4,910t 2.7%・8位	13億円・18位	1億7千万円 1.7%・8位

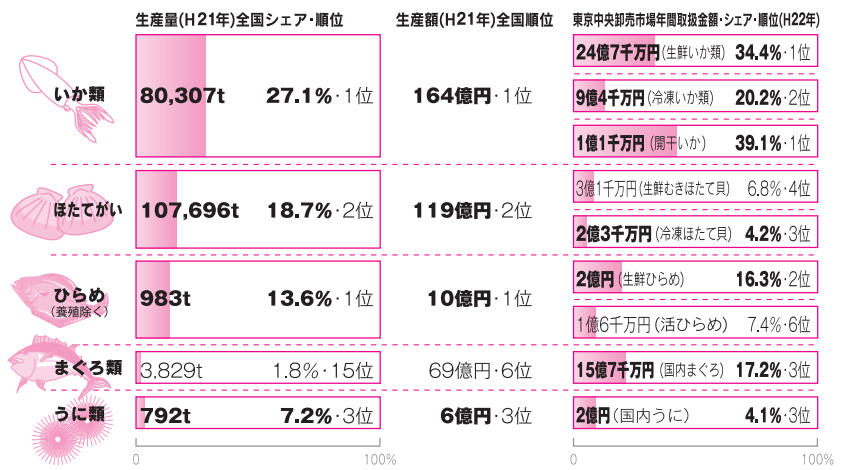
## ◆畜産

鶏卵は東京中央卸売市場年間取扱金額が**全国第1位!**産出額をみると**ブロイラー**は**全国第4位!**豚(239億円)は県内農業産出総額2,664億円の9.0%を占め、りんご(617億円)、米(523億円)に次ぐベスト3!



## ◆魚介類

海面漁業・養殖業は**総生産量259,631tで全国第4位、総生産額531億円で全国第7位!**生産量の多いいか類、ほたてがいのほか、まぐろ類の東京中央卸売市場年間取扱金額は3位! ひらめ、うに類も評価が高い!



資料：農林水産統計年報、平成21年畜産統計、平成21年農業産出額、平成21年食鳥流通統計調査結果、平成21年海面漁業・養殖業生産額(農林水産省)、東京中央卸売市場統計情報HP、農林水産省照会ほか

# 伝統のピカイチ・新しいピカイチ



青森県には、豊かな自然と生活、文化の中で育ったすばらしい技術やものが、たくさんあります。しかし、そういった「**伝統**」をただ守っているだけではありません。

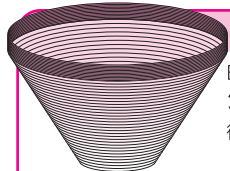
長い時の中で培われた技術を習得しつつ独自の工夫を加え、時には今までのやり方を変えてまったく**新しい試みに挑戦**し、困難を乗り越えて新たな分野を創出したものがあります。

## 津軽塗



津軽塗は、弘前を中心とした津軽地方に伝わる堅牢で優美な塗物(漆器)で、始まりは江戸時代元禄年間までさかのぼる。唐塗、七子塗、紋紗塗、錦塗という4種類の技法があり、凹凸をつけた下地に色漆を塗り重ねて砥石で研ぎ出して文様を表すため、約50もの工程を経て完成する。昭和50年に**国の伝統的工芸品に指定**された。伝統を保ちながらも**アクセサリ、インテリア、事務用品**などの斬新な作品を次々と誕生させ、ヨーロッパでも高く評価されている。**オーストリアの老舗グラスメーカーとのコラボレーション**で開発したテーブルウェアも話題を呼んだ！

## BUNACO(ブナコ)



BUNACOは、青森県が誇る**ブナ材**をテープ状に加工し、**バームクーヘン**のように巻き重ねて形を作る**工芸品**で、昭和31年、県工業試験場で技術開発されたのが始まり。**美しい立体曲線を自在に表現**できるだけでなく、**木材使用も通常の10分の1程度**。木の優しさとしみじみさを兼ね備えており、地球にも優しい。国内の高級ホテルなどでも使用され、海外での人気も高く、BUNACOのお盆と茶托を茶器と組み合わせた「Yauatcha Tea Set」は**イギリスで賞を獲得し、ウィクトリア・アンド・アルバート博物館に永久収蔵**されている。

## 下北ワイン



むつ市川内地区でブドウの試験栽培が始まったのが平成11年。下北の気候では栽培は難しいと言われながら、強い**信念と地域活性**という**使命感**によって困難を乗り越え、今では38万トンを取穫するほどに。化学肥料を使わないなど**土作りにもこだわり**、赤ワインの原料「**ピノ・ノワール**」は、1ワイナリーとして**国内最大規模**を誇る。

平成19年秋にはワイナリーが完成し、ブドウの生産から醸造まで、すべてがメイド・イン・下北！平成20年の「Sarah」に続き、平成22年には「Nina」、津軽地方のスチューベンを使った「**青森水菓**」が、**国産ワインコンクール**で**銅賞**を受賞。平成23年、**県産ブドウ**で初めて**ヌーボー(新酒)**を出荷！

# 青森の自然を楽しもう！



世界でも日本は四季の変化に富んだ国と言われていてます。その中でも青森県は季節の移り変わりがはっきりしており、四季折々の自然の美しさが私たちの目を楽しませてくれます。

**春は、公園の空を埋めつくす満開の桜**。薄桃色の花びらが優しく降りそそぎ、その可憐さに目を奪われず。ゴールデンウィークの頃に満開を迎え、**2,600本の桜がある弘前公園は、全国から約201万人**(平成23年)もの人が訪れます。

**夏は、山が力強い緑であふれる頃、県内各地は夏祭りの時期**を迎え、躍動感が街を圧倒します。「**青森ねぶた**」、「**八戸三社大祭**」など、約一カ月で**788万人**(平成23年)が**県内を訪れ、熱気は最高潮**。

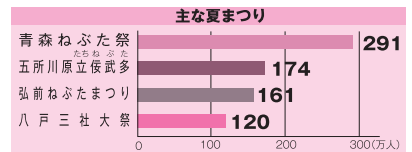
**秋は彩り豊かな紅葉が山や溪流を飾ります**。中でも**東北で最初に紅葉が始まる八甲田から十和田湖**にかけて景色は格別。ブナ・ナラ・ダケカンバなど色の種類も豊富で、**14.2kmに渡る奥入瀬溪流、紅葉・黄葉に覆われる十和田湖**(61.02km<sup>2</sup>、うち青森県分36.61km<sup>2</sup>)は息を飲む美しさ。

**冬は幻想的な雪景色で癒されたり、その中でスキー・スノーボード、スケート、カーリング**といった冬ならではの**スポーツを楽しんだり**。**地吹雪ツア**ーという雪国ならではの**イベント**まで！

「雪は邪魔なもの？」確かに、大雪の時は除雪で一苦労。雪の多かった平成20年、**青森市の雪日数は年間106日、最深積雪量は82cm**とともに**全国第2位**！16都道府県の雪日数が10日以下となっており、青森県は国内有数の、雪を楽しめる地域でもあります。

**青森市酸ヶ湯付近の積雪は、毎年4m以上！八甲田連峰には、ひと冬で約3,000万立方メートルもの雪が積もります**。山の雪は少しずつ解けだして土の中にしみ込むため、夏の間も川や湧き水が枯れることがありません。また、**積雪は雪の中を0℃に保ち、地面の下の植物や樹木の根の凍結を防ぎます**。豊かな「**山の幸**」は、雪によって支えられているのです。

もうひとつ、自然のスケールを実感できる通称「**八戸キャニオン**」は八戸市にある**全国唯一の露天掘りの鉱山**。一番低い場所は**海拔マイナス160m**もあり、直径2.7メートルのタイヤをつけた90トントラックが豆粒大に見えます。人工の場所ながら空が見える所では「**日本一低い**」と話題に。



資料:平成23年度 県内主要夏まつりにおける観光客入込数(青森県観光企画課)より抜粋

雪日数(県庁所在地 H20年)		最深積雪(県庁所在地 H20年)	
都道府県	日	都道府県	cm
1 北海道	108	1 北海道	106
<b>2 青森県</b>	<b>106</b>	<b>2 青森県</b>	<b>82</b>
3 岩手県	97	3 鳥取県	41
4 秋田県	94	4 山形県	40
5 山形県	85	5 岩手県	38

資料:第60回日本統計年鑑平成23年(総務省)